



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福  
 コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	141,717	3.5	8,876	5.6	10,021	15.0	6,062	9.6
2022年3月期第1四半期	136,898	△0.4	8,404	△8.0	8,716	1.2	5,533	16.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 9,855百万円(36.0%) 2022年3月期第1四半期 7,248百万円(134.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	103.64	—
2022年3月期第1四半期	91.86	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	485,317	255,358	52.0
2022年3月期	462,467	248,725	53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 252,383百万円 2022年3月期 245,954百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	282,700	3.3	17,500	△2.0	17,800	△3.0	11,200	△6.8	191.46
通期	563,500	1.7	35,000	1.6	35,500	0.2	23,000	1.6	393.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	61,757,978株	2022年3月期	61,757,978株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,261,771株	2022年3月期	3,261,422株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	58,496,439株	2022年3月期1Q	60,235,311株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

「山九のユニーク」マーク

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ワクチン接種等による防疫と経済の両立が進む一方、ウクライナ情勢により回復ペースは緩やかなものになると共に、引き続き不透明な状況が続きました。米国では、設備投資・個人消費がプラス成長を維持しており、インフレ上昇に歯止めがかかっていませんが、雇用・所得環境の改善により総じて堅調を維持しました。中国では、ゼロコロナ政策下の経済活動の抑制から成長減速が継続しています。新興国でも、ワクチンの段階的普及に伴いコロナとの共生が進みつつあり、成長回復が見られます。国内経済では、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により感染者数が抑制され、活動制限の緩和により個人消費は回復の兆しが見られたものの、ウクライナ情勢を受けた資源価格の上昇による物価高や為替相場における急激な円安等の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,417億17百万円と前年同四半期比3.5%の増収、利益面においては営業利益が88億76百万円と5.6%の増益、経常利益が100億21百万円と15.0%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益が60億62百万円と9.6%の増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 物流事業

港湾国際事業では、国内の海上コンテナ取扱いの増加やこれに伴うヤード内作業・保管作業が増加となりました。国際物流では、昨年度完工した東南アジアでのプロジェクト案件の剥落はあるものの、国内外での海上・航空貨物の輸出入取扱い増に加え、中国ではドレー作業等が好調に推移しました。3PL一般事業では、中国・東南アジアでの自動車部品・消費財等の輸送・保管作業等が堅調に推移しました。構内では、国内での作業で一部客先への業務移管があり作業量が減少となったのに加え、海外で装置の不具合による緊急対応に伴う先行コストがありました。

以上の結果、物流事業全体の売上高は744億14百万円と前年同四半期比7.2%の増収、セグメント利益（営業利益）は24億53百万円と前年同四半期比18.0%の減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は52.5%であります。

#### ② 機工事業

設備工事では、昨年度完工した化学プラント建設工事や重量物輸送での風力関連の建設工事等の剥落があったものの、メンテナンスでは国内SDM（大型定期修理工事）の工事や検査工事が増加となりました。

以上の結果、機工事業全体の売上高は614億29百万円と前年同四半期比0.2%の増収、セグメント利益（営業利益）は60億35百万円と前年同四半期比20.3%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は43.4%であります。

#### ③ その他

各関連工事への機材・資材貸出ではコストの抑制により利益は増加しました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は58億73百万円と前年同四半期比4.6%の減収、セグメント利益（営業利益）は3億12百万円と前年同四半期比4.6%の増益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.1%であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,594億94百万円であり、前連結会計年度末に比べ209億51百万円、8.8%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的とした、コマーシャル・ペーパーの発行に伴う現金及び預金の増加、および受取手形、売掛金及び契約資産の増加等によるものです。

### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は2,258億23百万円であり、前連結会計年度末に比べ18億98百万円、0.8%増加しました。主な要因は、設備投資による有形固定資産の増加等によるものです。

### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,555億46百万円であり、前連結会計年度末に比べ147億49百万円、10.5%増加しました。主な要因は、季節資金等の支払を目的としたコマーシャル・ペーパーの発行等によるものです。

### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は744億12百万円であり、前連結会計年度末に比べ14億66百万円、2.0%増加しました。主な要因は、リース負債の増加等によるものです。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,553億58百万円であり、前連結会計年度末に比べ66億33百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金および為替換算調整勘定の増加等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を1.2ポイント下回る52.0%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期(累計)業績および通期の業績見通しにつきましては、現在のところ2022年5月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,743	51,803
受取手形、売掛金及び契約資産	182,029	186,637
有価証券	876	1,446
未成作業支出金	1,433	1,902
その他の棚卸資産	2,252	2,186
その他	9,387	15,698
貸倒引当金	△178	△181
流動資産合計	238,542	259,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,421	63,813
土地	58,864	58,498
その他（純額）	39,147	41,706
有形固定資産合計	162,433	164,018
無形固定資産		
のれん	755	619
その他	7,432	7,248
無形固定資産合計	8,187	7,868
投資その他の資産		
投資有価証券	25,019	25,170
その他	28,770	29,213
貸倒引当金	△487	△448
投資その他の資産合計	53,303	53,935
固定資産合計	223,924	225,823
資産合計	462,467	485,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,558	76,122
短期借入金	13,193	5,439
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	4,371	4,061
契約負債	1,360	3,447
賞与引当金	7,551	2,416
その他	29,762	34,059
流動負債合計	140,797	155,546
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	7,493	7,585
退職給付に係る負債	30,538	30,861
その他	19,913	20,965
固定負債合計	72,945	74,412
負債合計	213,742	229,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,715
利益剰余金	203,301	205,955
自己株式	△9,117	△9,118
株主資本合計	235,519	238,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,856	8,704
繰延ヘッジ損益	27	21
土地再評価差額金	△254	△63
為替換算調整勘定	△2,291	1,550
退職給付に係る調整累計額	4,097	3,997
その他の包括利益累計額合計	10,434	14,210
非支配株主持分	2,770	2,975
純資産合計	248,725	255,358
負債純資産合計	462,467	485,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	136,898	141,717
売上原価	122,870	126,777
売上総利益	14,027	14,939
販売費及び一般管理費	5,623	6,062
営業利益	8,404	8,876
営業外収益		
受取利息	40	80
受取配当金	255	428
為替差益	—	774
助成金収入	153	0
その他	287	345
営業外収益合計	737	1,629
営業外費用		
支払利息	122	125
為替差損	73	—
その他	228	359
営業外費用合計	424	484
経常利益	8,716	10,021
特別利益		
受取補償金	341	—
固定資産売却益	152	—
特別利益合計	493	—
税金等調整前四半期純利益	9,210	10,021
法人税等	3,615	3,881
四半期純利益	5,594	6,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,533	6,062

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,594	6,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△358	△152
繰延ヘッジ損益	0	△6
為替換算調整勘定	2,099	3,967
退職給付に係る調整額	△86	△92
その他の包括利益合計	1,654	3,715
四半期包括利益	7,248	9,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,090	9,647
非支配株主に係る四半期包括利益	158	208

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	69,444	61,298	130,743	6,155	136,898	—	136,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,017	851	1,869	323	2,193	△2,193	—
計	70,462	62,150	132,612	6,478	139,091	△2,193	136,898
セグメント利益	2,992	5,016	8,009	298	8,308	96	8,404

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額96百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,414	61,429	135,844	5,873	141,717	—	141,717
セグメント間の内部 売上高又は振替高	763	990	1,754	390	2,145	△2,145	—
計	75,178	62,420	137,598	6,263	143,862	△2,145	141,717
セグメント利益	2,453	6,035	8,489	312	8,802	74	8,876

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額74百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。